

2009.4.26 (日) 雨 武奈ヶ岳 SH例会



細川のバス停から戻る



お墓を右に見て進む



標識に従い杉林に

948 細川バス停 1003 出発 1109 P 706
1230 山頂 1252-1320 地点②にて昼食
1332 イブギノコバ 1340 八雲・地点④ 1400
北比良峠 1530 大山口 1601 イン谷口
1635 比良駅



細川尾根を登る



釣瓶への道と合流

本日の予報はほとんど雨だが、初めての細川尾根に期待し、めげずに家を出る。細川尾根は標識がほとんどないが、踏み跡やテープが結構あり、ひとりでも不安なく行けそうな様子。高度を稼ぐに従い、風も強く、ガスも濃くなり、景色は絶望的となってくる。稜線に近づくとつれ、イワウチワやイワナシ、ショウジョウバカマなどの花も見つけられる。稜線にでると、案の定、風はより強く、景色はゼロ。また、西斜面にゴミが目立ち、いつのまにこんなにゴミがとびつくりする。



山頂



即、山頂を去る



中峠分岐・地点①



イブルキノコバ・地点③

山頂は寒く、昼食場所には不適切。南に下りた鞍部・地点②で昼食となった。が、気温も相当低いようであり、手も冷たい。早く食事を終え、出発。みぞれも降ってきた。皆の足が速くなり、10分でイブルキノコバ、10分で八雲に到着。写真を撮る暇もない。北比良峠からダケ道を下る。咲き始めたシャクナゲやイワカガミが雨に打たれ、きれいな色を出している。写真を撮ろうとするが、レンズが曇り、最悪のコンディションでしか撮れない。適当に撮り、下りを急ぐ。

武奈はご無沙汰して3年ぶりだ。山頂のごみ、山頂からの下りの道のえぐられ具合など大分様子が違う。本当にびっくりした。

景色はまったくない今回の山行であったが、武奈もいいなとなぜか思ってしまった。ロープウェイのあるころは冬もひとりで来ていたのだが、無くなってからは御前山から1回来ただけだと記憶する。

最近では鈴鹿や湖北の山が多いが、身近な比良にもっと来てほしいなあと思ってしまう。

